



三和の住宅用窓シャッター

窓シャッター電動式

取扱説明書



この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。
※建設会社・販売店・お施主様へ
この取扱説明書は実際に使用される方へ必ずお渡しください。

ごあいさつ

このたびは、三和シャッターの商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、三和の住宅用窓シャッター『窓シャッター電動式』を安全にご使用いただくためのガイドブックです。

当商品をご使用いただく前に、必ずこの取扱説明書をお読みいただき、十分ご理解されたうえでご使用ください。また、『ご使用上の注意』に記載されている事項は、守らないと重大な人身事故につながるおそれもありますのでよくお読みになり、正しくご使用ください。

この取扱説明書をお読みになった後は、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様に特に注意していただきたい事項に、右記のようなマークと見出しをつけています。この取扱説明書の中で、これらのマークと見出しがありましたら、記載内容をよくお読みいただき、十分ご理解のうえ注意してご使用ください。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性のあることを示しています。



注意

取り扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、または物的損害の可能性のあることを示します。



このマークのあるイラストは、してはいけない「禁止行動」を示しています。

目次

	ページ
安全にお使いいただくために	1
ご使用上の注意	2、3、4
1. 商品のタイプと各部の名称	5
2. 仕様	6
3. 設計耐用回数	6
4. 操作方法	7、8、9、10、11、12、13
5. 日常点検	14
6. 異常時の処置	15
7. お手入れ（清掃）方法	16
8. 商品保証に関する説明	17
9. 故障における修理連絡先	18

ご使用上の注意



警告

- 次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。

- ・シャッターを動かす場合は、シャッターの下に人がいないことを確認したうえで操作してください。
- ・シャッターは自動運転のため、お子様などがはさまれると重大な事故となるおそれがあります。
- ※「HEMS」による集中制御システムにつなげてタイマー設定する場合は特にご注意ください。
- ※「操作端末機器」の設定・操作方法などの詳細は、接続する「HEMS」の説明書をご確認ください。

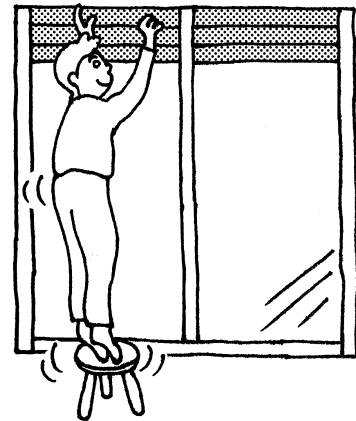


- ・操作スイッチ
- ・操作ユニット

・HEMS 操作端末機器

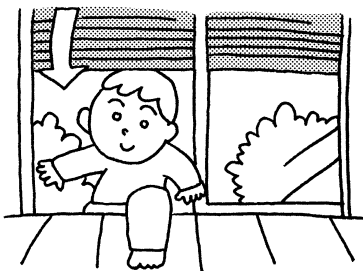
● 停電時操作の場合

停電時の操作に当たっては、高い場所で、手動にてシャッターを操作していただくことになります。窓からの転落などの危険が伴いますので、安定した足場を確保し、注意して行ってください。

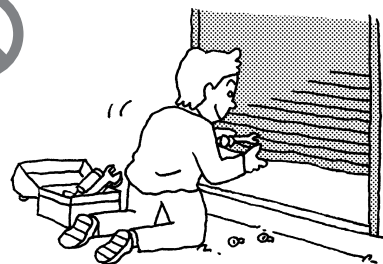


注意

- 次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。



シャッターの開閉中は下を通らないでください。シャッターにはさまれケガをするおそれがあります。



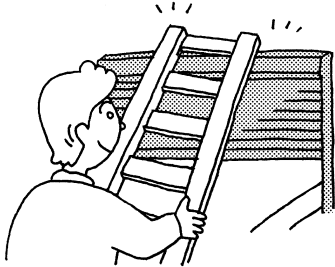
改造、修理、分解は行わないでください。故障の原因または仕様通りの性能が出なくなります。

ご使用上の注意



注意

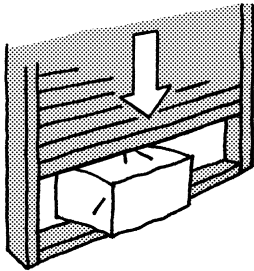
次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。



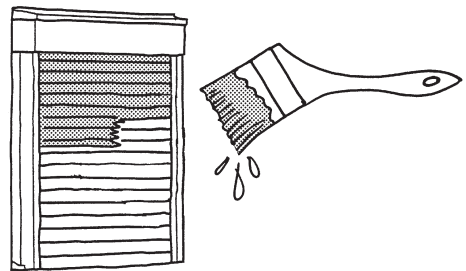
シャッターケースやスラットにハシゴをたてかけたり、物をぶつけないでください。変形したり、シャッターが動かなくなるおそれがあります。



水切板を踏み付けないでください。滑って転倒したり、水切板が変形するおそれがあります。



シャッターの開閉に支障となるようなもの（植木・箱など）を置かないでください。シャッターや器物を破損するおそれがあります。



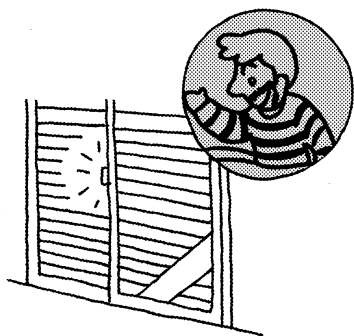
スラットに、塗装を行わないでください。故障の原因または仕様通りの性能が出なくなります。



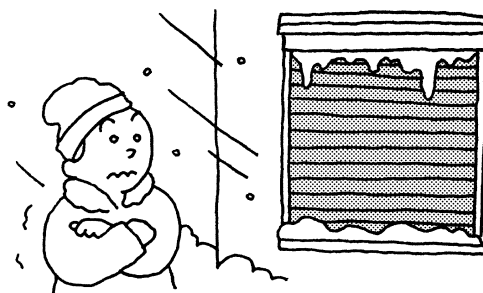
シャッターケースの内部に水を吹きかけないでください。感電や火災、故障の原因となります。

ご使用上の注意

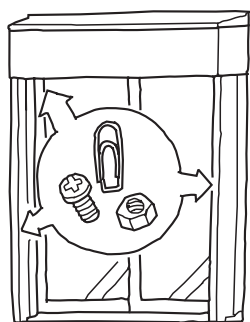
お願い



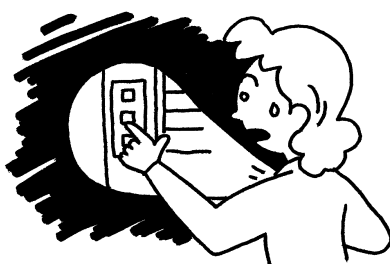
外出時または雨、強風、就寝時はシャッターを完全に閉め、室内のサッシも施錠してください。空き巣などに侵入されるおそれやシャッターが破損するおそれがあります。



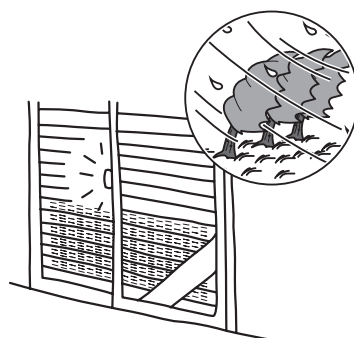
冬期、シャッターが凍結した場合は、溶けるまで待ってから開閉してください。無理に操作を行うと、破損するおそれがあります。



ガイドレールやシャッターケースの内部に物を差し込んだり、落とさないでください。故障のおそれがあります。



停電時はスイッチによる操作ができません。
電源が復帰するまでお待ちいただくか、停電時の手動操作（9ページ参照）に従って操作してください。



●換気タイプの場合
雨、強風時はシャッターを完全に閉め、室内のサッシも施錠してください。シャッターの換気穴から雨水が室内に入るおそれがあります。

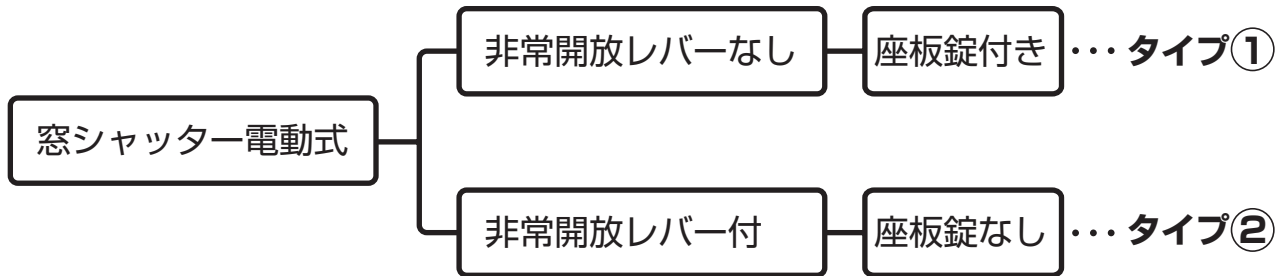
窓シャッターについて

- シャッターが全閉状態でも、強い降雨時にはスラット表面から内側に水が伝わり、スラットの内側が濡れることがあります。品質に問題はありませんので安心してご使用ください。
- スラットの表面に、雨などの水分が付着した状態でシャッターを開閉すると、水滴が落ちてくる場合があります。これはシャッターが巻き取られる際に、スラット表面の水滴が内側に付着するためです。品質に問題はありませんので安心してご使用ください。
- シャッターが全閉状態でも、強風によりスラットがばたつき、音がすることがありますが、異常ではありません。
- シャッターが全閉状態でも、構造上外からの光が入ることがありますが、異常ではありません。

1 商品のタイプと各部の名称

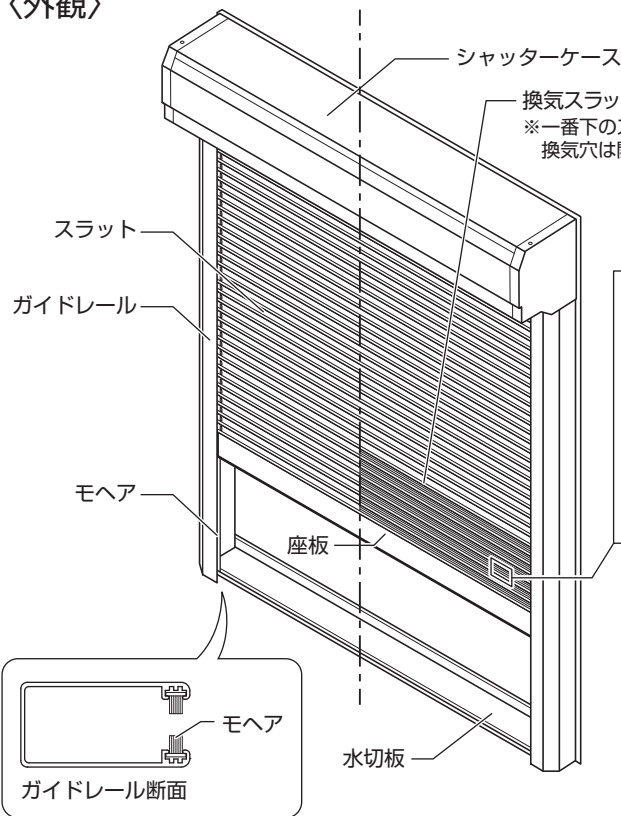
●商品のタイプ

設置されている窓シャッターのタイプをご確認ください。

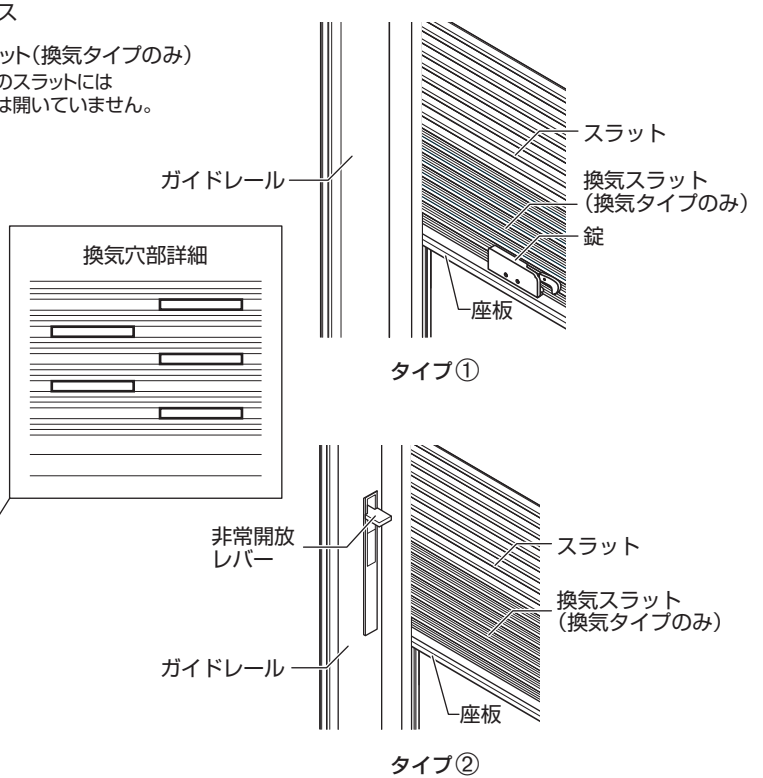


●各部の名称

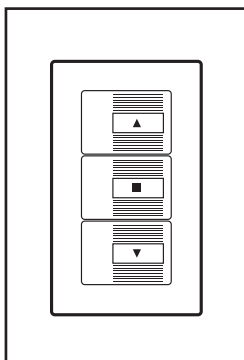
〈外観〉



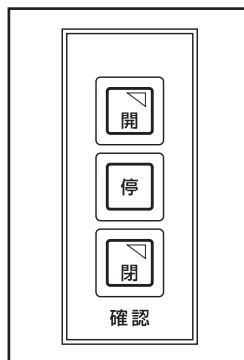
〈内観〉



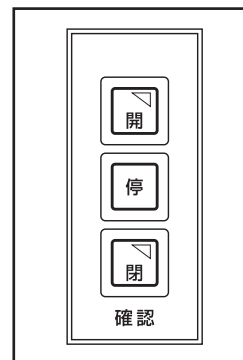
操作スイッチ



操作ユニット(HY-800) (オプション)
[タイプ①の場合の一斉操作スイッチ]



HEMS 対応操作ユニット(HEM-800) (オプション)
[HEMS 仕様の場合の操作スイッチ]



※ 電動式リモコンタイプの場合、壁に操作スイッチはつきません。

※ タイプ①のみ

2 仕様

■材質

スラット	カラー鋼板
換気スラット	アルミ型材
シャッターケース	カラー鋼板
ガイドレール・水切板・座板	アルミ型材

■使用条件

高さ制限	地上3階以下(≦10m)
周囲温度	-10~+40℃(凍結状態は除きます)
周囲湿度	RH85%以下

■タイプ

●タイプ①

停電時やブレーカが落ちている状態では、シャッターの手动開閉が可能のため、座板に錠を装備しております。長期外出時にはシャッターの施錠が必要です。

■開閉機

電源	単相 AC100V (50/60Hz)
消費電力	40W 以下 (待機時 2W 以下)
開閉速度	約 3 m / 分
障害物検知	過負荷検知式
停電時操作	手动開放式

●タイプ②

通電時(通常のご使用状態)、停電時に関わらず、シャッターは常にロックされているため、座板には錠は装備しておりません。停電時の手动開閉には非常開放レバーの操作が必要です。

3 設計耐用回数

設計耐用回数：1万回開閉

ただし、設計耐用回数は保証値ではありません。

「設計耐用回数」は、お客様により適切な維持・管理とお手入れをしていただくと共に、取扱説明書に従って正しくご使用いただいた場合の数値です。

取扱説明書に沿ってご使用いただけない場合や、使用頻度、点検・お手入れなどの状況により記載数値を満足しないことがあります。

なお、沿岸部、温泉地帯、化学・薬品工場などの腐食性環境や、大気中の砂塵、煤煙などが商品に付着する場所、および高温、低温、多湿などの使用環境下では、記載数値を満足することはできません。

4 操作方法

警告

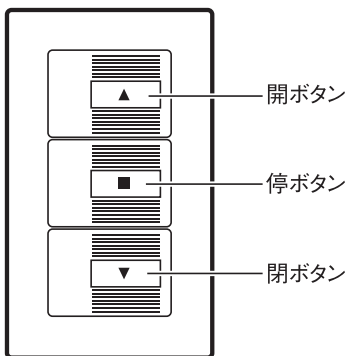
シャッターを動かす場合は、シャッターの下に人がいないことを確認した上で操作してください。シャッターは自動運転のため、お子様などがはさまれると重大な事故となるおそれがあります。




注意

- 開閉時はシャッターの下や周りに、人や物がいないことを確認してください。はさまれてケガをしたり、物を破損するおそれがあります。
- シャッターを開けるときは、錠を必ず解錠してから開けてください。施錠したまま開操作をしてしまった場合は、一度全閉させてから、錠を解錠し、再度シャッターを開けてください。(タイプ①のシャッターの場合)

4-1 操作スイッチによる操作方法



※リモコンによる操作方法は、別紙「窓シャッター用特定小電力リモコン装置」の取扱説明書をご覧ください。




開けるとき	開ボタン  を押してください。
止めるとき	停ボタン  を押してください。
閉めるとき	閉ボタン  を押してください。
障害物検知装置が働いたとき	<ul style="list-style-type: none">● シャッターが下降中、障害物により、シャッターカーテンに負荷がかかると、約 10 秒間上昇し、停止します。● 障害物を取り除いた後、正常に動作するか確認してください。

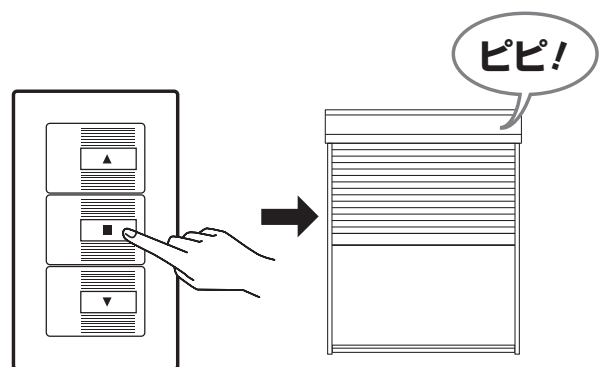
タイプ② (5 ページ) のシャッターは、以下の半開動作を設定することができます。

「半開動作」について



 開ボタンと  閉ボタンを同時に押すと、予め設定しておいたお好みの中間停止位置に自動停止させることができます。

「半開動作」の設定方法

- (1) お好みの中間停止位置でシャッターを一旦停止させてください。
- (2) 停止している状態で  停ボタンを押しつづけてください。(約 5 秒間)
- (3) シャッターケースから「ピピ！」という音が聞こえたら設定完了です。



※手動操作から電動操作へ切り替えた後、または停電並びに配電ブレーカを OFF から ON にした後は、シャッターを 1 往復させないと「半開動作」の設定及び操作はできません。その場合には、次の操作を行ってください。

- (1)  開ボタンを押して、全開状態で自動停止するまで動かしてください。
- (2)  閉ボタンを押して、全閉状態で自動停止するまで動かしてください。
- (3) 「半開動作」の設定を行ってください。

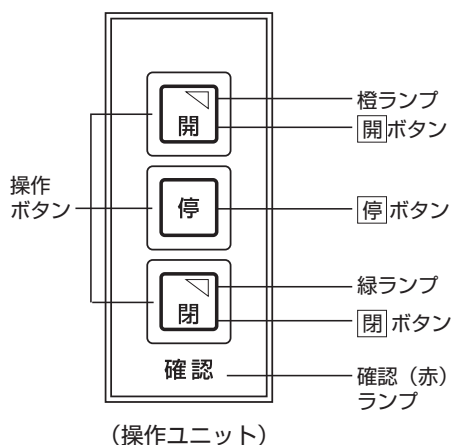
4-2 操作ユニット (HY-800) による操作方法

操作ユニット (HY-800) は、タイプ①の窓シャッターを一斉に動作させるための操作スイッチです。



注意

操作ユニットのスイッチ部はとがったもので押さないでください。
表面のシートが破れるおそれがあります。



開閉操作	操作方法
開けるとき	<p>開ボタンを押してください。……………報知音「ピッ」</p> <p>※開動作中は橙ランプが点滅し、全開時には点灯します。</p> <p>※接続されているすべてのシャッターが動作します。</p>
止めるとき	<p>停ボタンを押してください。……………報知音「ピッ」</p> <p>※シャッターを途中で停止すると橙または緑ランプは消灯します。</p> <p>※全開・全閉時に 停 ボタンを押してもランプは消灯しません。</p> <p>※ 停 ボタンを押している間は 開 閉 ボタンは受け付けません。</p> <p>※接続されているすべてのシャッターが停止します。</p>
閉めるとき	<p>閉ボタンを押してください。……………報知音「ピッ」</p> <p>※閉動作中は緑ランプが点滅し、全閉時には点灯します。</p> <p>※接続されているすべてのシャッターが停止します。</p>
障害物検知装置が働いたとき	<p>シャッターが下降中、障害物によりシャッターカーテンに負荷がかかると、約10秒間上昇し、停止します。</p> <p>確認ランプが点灯し、報知音「ピピピ…」が鳴り、異常が発生したことを知らせます。</p> <p>※障害物を取り除いた後、停 ボタンを押したのち、正常に動作するか確認してください。</p>

■ 操作ユニットのランプ・報知音の説明

ランプ・報知音	状態	対応方法
操作ユニットのランプが全て消えている。	途中停止しているシャッターがある。	開閉操作をすると開閉ボタンいずれかのランプが点滅または点灯します。
	全開しているシャッターと全閉しているシャッターが混在している。	
	停電。	停電復帰後、全てのシャッターの操作スイッチまたは操作ユニットで全開操作後、全閉操作を1往復以上行ってください。
操作ユニットの確認ランプが点灯し、報知音「ピピピ…」が鳴っている。	障害物検知装置が働いている。	障害物を取り除いてください。 報知音は操作ユニットで操作を行うと報知音が鳴り止みます。
	連続運転によりモーターが加熱して、停止機能が働いた。	10分程度休ませてから操作してください。
操作ユニットの確認ランプが点灯しているのに報知音が鳴り止んだ。	報知音が1分経過し鳴り止んだ。	各シャッターに異常がないか確認し、個別の操作スイッチまたは操作ユニットで操作を行うと消灯します。
	操作ユニットのボタンを押して報知音を停止させた。	

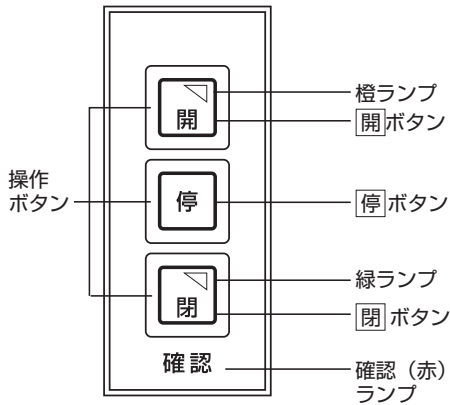
4-3 HEMS 対応操作ユニット (HEM-800) による操作方法

HEMS 対応操作ユニット (HEM-800) は、「HEMS」による集中制御システムに対応するための操作スイッチです。



注意

操作ユニットのスイッチ部はとがったもので押さないでください。
表面のシートが破れるおそれがあります。



(HEMS 対応操作ユニット)

開閉操作	操作方法
開けるとき	<p>開ボタンを押してください。……………報知音「ピッ」 ※開動作中は橙ランプが点滅し、全開時には点灯します。</p>
止めるとき	<p>停ボタンを押してください。……………報知音「ピッ」 ※シャッターを途中で停止すると橙または緑ランプは消灯します。 ※全開・全閉時に 停 ボタンを押してもランプは消灯しません。 ※ 停 ボタンを押している間は 開 閉 ボタンは受け付けません。</p>
閉めるとき	<p>閉ボタンを押してください。……………報知音「ピッ」 ※閉動作中は緑ランプが点滅し、全閉時には点灯します。</p>
任意の半開位置で自動停止させるとき (半開操作機能)	<p>「HEMS」につなげてご使用になる場合のみ、操作ユニットに任意の半開停止位置を設定し「操作端末機器」で半開操作することができます。(注) ※「操作端末機器」で半開操作すると、自動で全閉した後、設定した半開位置まで開き停止します。</p> <p>【半開停止位置の設定方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 停 ボタンを押してシャッターを全閉してください。 閉 ボタンを長押ししてください。報知音が「ピーツ」と鳴り、自動上昇を開始します。 停、開、閉 ボタンで半開停止位置を決め停止させてください。 停 ボタンを長押ししてください。報知音が「ピーツ」と鳴り、操作ユニットが半開停止位置を記憶し設定が完了します。
障害物検知装置が働いたとき	<p>シャッターが下降中、障害物によりシャッターカーテンに負荷がかかると、約10秒間上昇し、停止します。確認ランプが点灯し、報知音「ピピピ…」が鳴り、異常が発生したことを知らせます。 ※「HEMS」につなげている場合は、「操作端末機器」からの操作ができなくなります。 ※障害物を取り除いた後、停 ボタンを押したのち、正常に動作するか確認してください。</p>

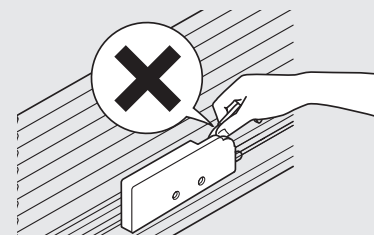
注：「操作端末機器」による操作方法などの詳細は、接続する「HEMS」の説明書をご確認ください。

4-4 施錠・解錠の操作 (タイプ①のみ)

※商品タイプにつきましては、5ページをご確認ください。

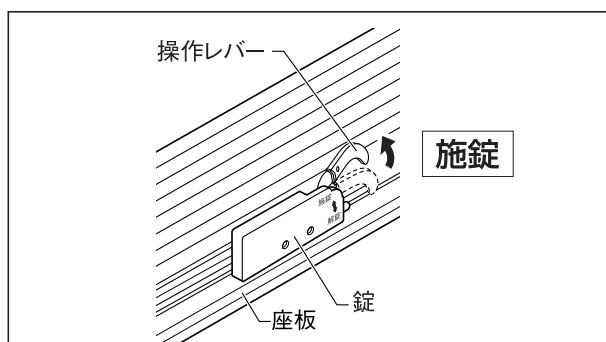


操作レバーを根元で操作しないでください。
指をはさみ、ケガをするおそれがあります。



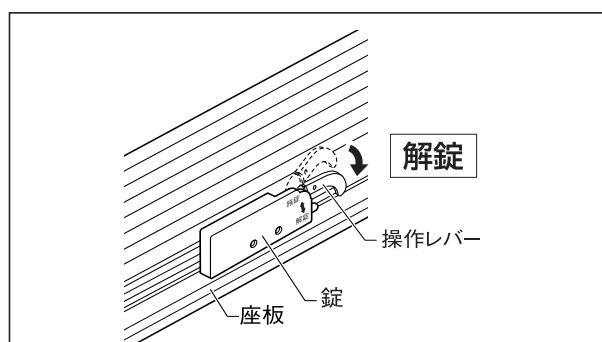
■ 施錠方法

シャッター全閉後、操作レバーを上げると
施錠します。



■ 解錠方法

操作レバーを下げると解錠します。

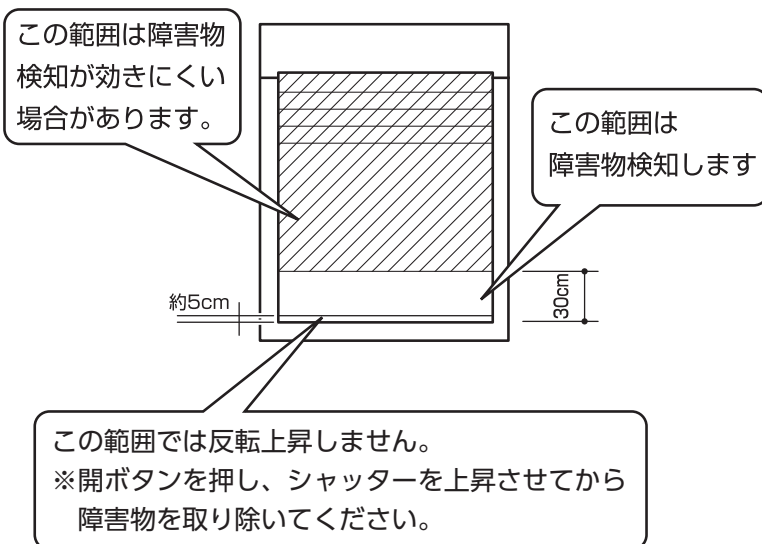


※ シャッターを開けるときは、必ず解錠してから開けてください。施錠したまま開操作をしてしまった場合は、一度閉ボタンにより全閉させてから、錠を解錠し、再度シャッターを開けてください。

4-5 障害物検知装置の説明

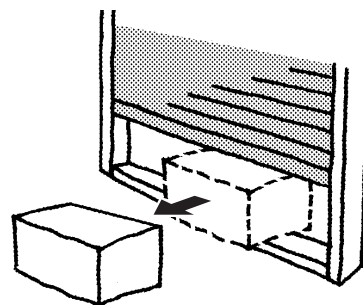
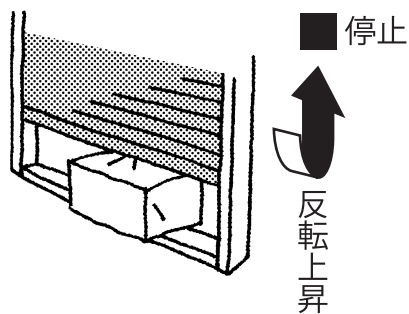


当商品の障害物検知装置は、水切板と座板との間に人や物のはさまれた場合を想定しております。水切板から30cmより上では効きにくい場合があります。また、停止寸前の水切板約5cm上では、反転上昇しません。



- (1) シャッターが下降中、障害物によりシャッターカーテンに負荷がかかると約10秒間上昇し、停止します。停止後、開閉機から報知音「ピー・ピー・ピー・ピー・ピー」が鳴ります。
- (2) 障害物を取り除いた後、正常に動作するか確認してください。

※本シャッターの特性上、停止または、反転上昇が開始するまで時間が掛かる場合があります。ご了承ください。



4-6 停電時の手動操作



警告

停電時の操作に当たっては、高い場所で、手動にてシャッターを操作していただくことになります。窓からの転落などの危険が伴いますので、安定した足場を確保し、注意して行なってください。

この操作は、シャッターのタイプによって異なります。お使いのシャッターのタイプをご確認のうえ下表の操作手順に従い、操作してください。

※商品タイプにつきましては、5ページをご確認ください。

タイプ①	タイプ②
<p>(1) 操作レバーを下げて解錠します。</p>	<p>(1) 内観左のガイドレールにある非常開放レバーを押し下げます。</p>
	<p>※通電時に上記操作を行いますと、開閉機よりブザーが鳴ります。ブザー音は60秒後に止まります。</p> <p>(2) 座板の中央部に手をかけて、シャッターを押し上げます。</p>
<p>(2) シャッターカーテンの出来るだけ上の部分に手のひらを押し当てて、斜め上方向に持ち上げるようにゆっくりとシャッターを上げてください。</p>	<p>● 手動操作から電動操作に戻すときは、再度非常開放レバーを下げ、元の状態にもどします。</p>

4-7 停電復旧後の操作方法について

お願い

停電復旧後、必ず次の (1) ~ (2) 操作を行なってください。
この操作を行なわないと、

- 障害物を検知した際に、停止のみで反転上昇しません。
- 全閉時に、スラットが波打った状態になることがあります。

- (1) 開ボタンを押し、一度全開させてください。
※ 全開の状態でも開ボタンを押してください。
- (2) 全開状態から、閉ボタンを押して全閉させてください。

4-8 防犯機能について

※商品タイプにつきましては、5 ページをご確認ください。



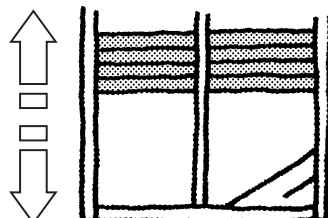
注意

「防犯機能」は補助的な機能です。就寝、外出時は、シャッターを閉め、座板に錠がある場合は施錠し、室内のサッシも施錠してください。

防犯機能…外部からシャッター座板を持って、無理に開けようとする、シャッターケース内のモーターがロックし、シャッターが開けられるのを防止する機能です。作動条件は下記のとおりです。

タイプ ①	タイプ ②
<ul style="list-style-type: none">● 通電時 (通常のご使用状態)、全閉しているときのみ作動します。全閉位置以外で停止している状態では作動しません。● 停電時やブレーカが落ちている状態では作動しません。長期外出時には必ず錠を施錠してください。	通電時 (通常のご使用状態)、停電時に関わらずモーターは常にロックされており、防犯機能が作動しています。

4-9 開閉時のシャッターの動きについて



当商品は、上部巻き取り部分のスプリングでバランスさせたシャッターカーテンをモーターで開閉する構造になっています。バランス状態によっては、開閉中にシャッターカーテンが小刻みに動く場合もありますが、故障ではありません。安心してご使用ください。

5 日常点検

シャッターの開閉状態について、以下の事項を確認してください。

- 今までと異なった音がしないこと。
- 今までと異なった振動がしないこと。
- 外観に使用上有害な変形がないこと。
- 全開、全閉で停止すること。

異常がありましたら直ちに使用を中止し、最寄りの三和シャッター工業（株）営業所または FTS（修理連絡先）までご連絡ください。（→「9. 故障における修理連絡先」18 ページ参照）

6 異常時の処置

修理依頼の前に必ず次のことを確認してください。それでも正常に動作しない場合はご連絡ください。

※異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、最寄りの三和シャッター工業（株）営業所または FTS（修理連絡先）までご連絡ください。（→「9. 故障における修理連絡先」18 ページ参照）

異常の内容	原因	処置方法
操作スイッチ・ユニットの開・閉ボタンを押してもシャッターが動かない。	連続運転によりモーターが加熱して、停止機能が働いた。	一旦スイッチを切り、10 分程度休ませてから操作してください。
	ご家庭のブレーカが落ちている。	ブレーカを ON にしてから操作をしてください。
	停電。	停電が復旧してから操作をしてください。
	座板についている錠を施錠したまま操作している。	解錠してから操作をしてください。 本書 10 ページをご参照ください。
	シャッターが凍結した。	融けるのを待って操作してください。
	駆動機構が経年劣化により故障した。	直ちに使用を中止して、最寄りの三和シャッター工業（株）営業所または FTS（修理連絡先）までご連絡ください。
シャッターがスムーズに開閉しない。	シャッターケース内、ガイドレール、スラットに異物が挟まっている。	異物を取り除いてください。 困難な場合は最寄りの三和シャッター工業（株）営業所または FTS（修理連絡先）までご連絡ください。
	ガイドレールまたはスラットの変形、サビがある。	最寄りの三和シャッター工業（株）営業所または FTS（修理連絡先）までご連絡ください。
	スラットが片側に寄ってずれている。	
	モヘアが経年劣化により磨耗している。	
シャッターの開閉時に異音が発生する。	シャッターケース内、ガイドレール、スラットに異物が挟まっている。	異物を取り除いてください。 困難な場合は最寄りの三和シャッター工業（株）営業所または FTS（修理連絡先）までご連絡ください。
	ガイドレールまたはスラットの変形、サビがある。	最寄りの三和シャッター工業（株）営業所または FTS（修理連絡先）までご連絡ください。
	スラットが片側に寄ってずれている。	
	モヘアが経年劣化により磨耗している。	
施錠できない。	座板についている錠が破損している。	
リモコン（オプション）のボタンを押しても動かない。	連続運転によりモーターが加熱して、停止機能が働いた。	一旦スイッチを切り、10 分程度休ませてから操作してください。
	ご家庭のブレーカが落ちている。	ブレーカを ON にしてから操作をしてください。
	停電。	停電が復旧してから操作してください。
	リモコンの電池が切れている。	電池を交換してください。 リモコン添付の取扱説明書をご参照ください。
	リモコンの操作範囲外で操作している。	操作範囲で操作してください。 リモコン添付の取扱説明書をご参照ください。
リモコン（オプション）の操作距離が短くなった。	リモコンの電池が切れている。	電池を交換してください。 リモコン添付の取扱説明書をご参照ください。

7 お手入れ（清掃）方法



注意

お手入れの前に、必ず下記の事項を守ってください。

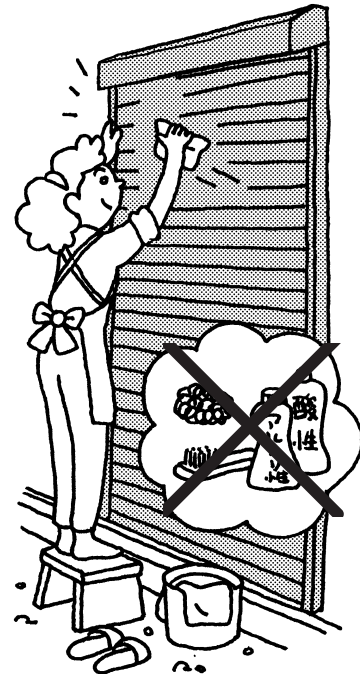
- お手入れ時は危険ですので、シャッターを動かさないでください。
- お手入れ時は安定した足場を確保し、十分注意してください。
- シャッターケース内に水をかけないでください。故障や感電の原因になります。

シャッターを長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年1～2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

- ガイドレールの底に入ったゴミや異物は故障の原因になりますので、取り除いてください。
- 日頃のお手入れは、羽根バタキ・ハンディモップなどでホコリを落としてください。
濡れた布などで汚れを拭きとった後は、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、次の手順で清掃してください。
 - (1) シャッターケース内に水が入らないよう注意して水で汚れを洗い落としてください。
 - (2) 水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を含ませたスポンジまたは布で拭き取ってください。
 - (3) 表面に洗剤と汚れが残らないように十分に水洗いしてください。
 - (4) 乾いた布で水分を拭き取ってください。

※シンナーなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の洗剤、クレンザーなどは使用しないでください。
サビや変色の原因となります。

※金属たわしやワイヤブラシなどは使用しないでください。表面に傷がつきます。



8 商品保証に関する説明

商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店様、工務店様、販売店様または当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

保証期間

施工業者よりの引き渡し日（注 1、注 2）から 2 年間。ただし、電装部品につきましては 1 年間。

（注 1）改修工事の場合は、改修部分のみの保証であり、その工事完了の日とします。

（注 2）分譲住宅（建売住宅）、分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※錠前は、上記に係わらず別途定められた保証内容によります。

保証内容

取扱説明書、本体ラベル、またはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合は、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

免責事項

保証期間内でも次のような場合は、有料修理となります。

1. 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、暴雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災、津波、噴火など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
2. 自然現象や使用環境に起因する不具合（例えば、結露・凍結、風による振動・共鳴音など）。
3. 環境が悪い地域や場所での腐食またはその他の不具合（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）。
4. カタログや取扱説明書などに表示された商品の性能を超えたことに起因する不具合。
5. 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
6. 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
7. 当社の手配によらない第三者の加工上、組み立て上、施工上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）。
8. お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造（必要部品の取り外しを含む）に起因する不具合。
9. 引き渡し後の操作誤り、または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
10. 使用に伴う接触部分の摩耗・傷、塗装の剥離や時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっきの劣化またはこれらに伴うサビの不具合。
11. 実用化されている科学や技術では、予測することや予防することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合。
12. 犬、猫、鳥、鼠、昆虫、ゴキブリ、蜘蛛などの小動物の害による不具合。
13. 機能上支障のない音、振動など感覚的現象。
14. 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。
15. その他、不具合の原因が第三者にある場合。

※保証期間経過後の修理、交換などは有料となります。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましてご不明な場合は、当社までお問い合わせください。

9 故障における修理連絡先

故障や事故に、電話 1 本で対応。
FTS（フルタイムサービス）をご利用ください。

三和シャッター工業（株）では、商品の故障・事故に年中無休・24 時間体制でお応えする FTS（フルタイムサービス）システムを設けています。

電話 1 本でサービスマンがお客様のところへ伺います。

※天候・その他不可避な状況により当日の対応ができない場合があります。

— FTS 受付 —

フルタイムサービス
FTS  **0120-3030-17**
さんわ さんわ い～な

■品質向上を目的に予告なく仕様を変更する場合があります。



三和シャッター工業株式会社

<http://www.sanwa-ss.co.jp/>

- 商品に関するお問い合わせは  **0570-063011/03-3346-3011**
(土日祝を除く平日9:00~17:00) ※一般電話・公衆電話からは、市内料金で通話可能。
- 修理に関するお問い合わせは **フルタイムサービス FTS**  **0120-3030-17** さんわさんわ い〜な
(年中無休・24時間受付対応)

この取扱説明書は環境に配慮した再生紙を使用しています。

●お問い合わせは